

患児と家族に寄りそった看護を目指しています



- ◆ 勤務病棟 : 3階東病棟 (小児循環器・PICU)
- ◆ 職 種 : 助産師 (3年目)
- ◆ 出身校 : 岐阜医療科学大学 助産専攻科

Q1 当センターで働く中で、あなたが成長できたと実感したエピソードを教えてください。

新人の頃は、悩みや不安を抱える家族と関わる事が難しく、どう関わったらいいのかと悩むことも多くありました。しかし、様々な家族と関わっていく中で一緒に話す時間を作り悩みや不安を傾聴したり、嬉しい事や楽しい事は一緒に共有したり、家族と信頼関係を築けるようになってきました。そうすることで、家族の方から悩みを打ち明けてくれたり、関係のない事でも気軽に話してくれたりすることが増えました。多くの患児や家族との関わりを通し、寄り添える看護ができるようになってきたと感じます。

Q2 あなたが今、看護実践に限らず頑張っていること、興味を持っていることについて教えてください。

現在 PICU で勤務をしており、術後の管理や重症度の高い患児の看護をしており、急性期の看護について、学びを深めています。また助産師として、PICU で母子分離する母児への授乳指導、面会時に悩みや不安を積極的に聞きくように心掛けています。また入院している母児の直母指導や乳房トラブルへの対応も行い、お母さんたちのサポートも頑張っています。

Q3 あなたの看護実践に影響を与えた上司、先輩、同僚とのエピソードを教えてください。

初めて急変を体験し、恐怖と不安で涙が止まらなかった時、先輩方が優しい言葉をかけてくださったり傍にいて話を聞いてくださりました。また後日改めて急変時の対応について振り返ってくださいました。また、悩みや不安がある時にも話を聞いてくださる先輩がいて安心して働く事が出来ています。同期の子とも出かけたりご飯に行ったりして悩みや不安を共有しストレス解消になり、切り替えて仕事に取り組むことができている。